

令和元年度 大阪府立寝屋川支援学校第2回学校運営協議会 議事録

開催日時	令和元年12月16日(水) 9:30~11:30			
開催場所	大阪府立寝屋川支援学校 図書室			
出席者	委員	職名等	学校	校務分掌等
	辻 行雄	一般社団法人 エル・チャレンジ L' s College おおさか校長	太田 正義	校長
	窪田 知子	滋賀大学教育学部准教授	岡本 智	准校長
	山崎 淳	寝屋川市立梅が丘小学校長	石川 昌義	事務部長
	今泉 知之	ダスキンローレル サービスマスター事業部 代表者	藤田 太朗	教頭
			和田 泰英	教頭
	大槻 千春	寝屋川支援学校PTA会長	角尾 将司	首席
			西田 宜弘	首席・小学部主事
	加藤 美朗 【欠席】	関西福祉科学大学教育学部准教授	門田 悠	首席
			植屋 正美	首席・高等部主事
林 尚美			中学部主事	
安井 悠子			進路指導主事	
日置 節子			指導教諭	
傍聴者	なし			
協議資料	大阪府立寝屋川支援学校学校運営協議会実施要項 平成31年度学校経営計画(進捗状況) ICT機器・進路指導・防災について 学校アンケートの中間報告 「さんくん呼称」についてのアンケート			
議題等	<ul style="list-style-type: none"> ・高等部授業見学 ・ICT機器(電子黒板の活用について) ・進路指導の状況について ・防災の取り組みについて ・「さんくん呼称」についてのアンケートについて ・令和元年度学校経営計画の進捗状況について 			
協議内容・承認事項等 (意見の概要)	<p>(1) 電子黒板の活用では、使用した教員にアンケートを取ると、「書き込み」ができることが大きな利点であるとのことであった。注目するポイントをわかりやすく示したり、児童生徒が書き込むことで発表できたりするなどの効果があった。回答するときの枠なども、すぐに画面上に作ることができる。USBを差し込むことで、すぐにパワーポイントなどのデータを表示することも可能であり、小学部の低学年等において特に授業内容がわかりやすくなるので、より一層活用されるのがよい。</p> <p>(2) 避難所宿泊体験については、体験することで、実際の場面が想像できるようになり、保護者や児童生徒が防災や減災に向けて、どう取り組んでいけばよいのか、考えやすくなると思われる。貴重で有意義な取り組みであるので、今後も継続して取り組んでいてもらいたい。</p> <p>(3) 「さんくん」呼称で呼ぶことについては、その後続く言葉が柔らかくなること等の効果が期待できる。このようなアンケートを通して、一定の成果があったと認識している。一般企業では、もちろんそのように取り組んでいるところでもあり、小学校では一年生から、すべて「さん」付けで呼ぶ学校もある。保護者からは良い取り組みなので、定着してほしいという意見もあり、この取り組みを進めていくべきである。</p>			